

消費者フォーラム in Hirosaki 概要

保田宗良

消費者フォーラム in Hirosaki は、2019 年 1 月 26 日に弘前大学総合教育棟 306 講義室で行われた。参加者は 32 名でやや少なかったが、大学教員、大学生、消費生活アドバイザー、行政職員、青森県消費者協会スタッフ等、多彩な顔ぶれが参集した。

第 1 部は NACS 特別講座とし、大西二郎（NACS 東北支部長）が「消費者の手で提案する標準化（JIS 規格）」というテーマで講演を行った。消費者フォーラムと標準化の関係、標準化とは何か、NACS が取り組む標準化推進、受講者に期待することを中心に、丁寧な説明がなされた。詳細は、3 頁以下を参照。



NACS 特別講座

第 2 部は研究交流会を開催した。

第 1 報告では、保田が「高大連携による高校教育推進の課題と展望」として、高大連携の取り組みについて報告した。この 1 年間の活動として、オープンキャンパスにおけるアンケート調査、高校教員との面談、弘前実業高等学校で出張講義を行ったが、それぞれの内容を簡潔に説明した。詳細は、15 頁以下を参照。

第2 報告では、弘前大学の消費者問題講義受講生グループが、「大学生の成果発表～消費者市民社会形成の取り組み～」として研究成果を発表した。

グループ A 「国・企業から見るフードロス対策」

グループ B 「プラスチックごみの現状と消費者市民社会」

詳細は、21 頁以下を参照。

第2 報告の後、自由討論を行い、学生チームへの質疑、意見、大西氏への質疑、保田の高大連携の進め方への意見等、20 分程度であったが、活発な議論がなされた。



自由討論風景